



長野県No.1 のもも・ネクタリン産地を守ろう！

◆生育状況と当面する重点作業について

1. 高温が続いており、生育は遅れている。干天が7～10日程度続いたら、樹冠下に集中し、20～30mm程度のかん水(高温が続く場合は、5～7日間隔で行う。)を行ない、生育を助けるとともに、日焼防止を促す。なお、まとまった降雨がある場合は、排水対策を行う。
2. 各品種の除袋を適期に行う。
3. 収穫品種は、着色にとらわれず、熟度優先の収穫をする。
(樹勢の弱い樹・核割れ果・変形果等は収穫が早まるので注意する。)
4. 除袋後・収穫前防除と被害果除去により腐敗病・ミカンキイロアザミウマ防除対策を徹底する。
特に昨年は、腐敗病が多発生し、問題となったため、必ず、除袋後・収穫前防除を実施する。
5. 過繁茂の樹体・新梢管理を適切に行う。
6. 収穫前管理を徹底する。
7. 配布されている「葉面散布肥料・特殊資材の使い方」を参考に葉面散布肥料を有効に活用する。
8. せん孔細菌病「夏型枝病斑」対策を徹底する。

【もも薬剤防除】

◆第10回薬剤散布について

1. 散布時期:7月19日(土)～23日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
展 着 剤	10ml	—	—
ベルコートフロアブル	50ml	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日
㊥ イカズチWDG	66g	シンクイムシ類・ハマキムシ類・モモハモグリガ	前日
(㊥ダイアジノン水和剤34)	100g	(カイガラムシ類)	前日

4. 留意事項
 - ①除袋前であれば、中生種も上記の防除を実施する。
除袋後の場合はこの第10回防除に代えて、別記の除袋後・着色始めの防除を実施する。
 - ②降雨が多い場合は果実腐敗病対策として、ベルコートフロアブルを1,500倍(水100ℓ当り66ml)で使用してもよい。
 - ③カイガラムシ類発生園は、もものみ、㊥ダイアジノン水和剤34を加用散布する。
なお、ネクタリンは収穫21日前までの登録のため、農薬飛散しないよう十分注意する。

【ネクタリン薬剤防除】※もも・ネクタリン混植園

◆第10回薬剤散布について (フレーバートップ・ファンタジア・秀峰)

フレーバートップ等も、収穫間際になる場合は、「除袋後・着色始め」、「収穫開始2日前」防除を実施する。

1. 散布時期:7月19日(土)～23日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
展 着 剤	10ml	—	—
ベルコートフロアブル	50ml	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日
㊥ イカズチWDG	66g	シンクイムシ類・ハマキムシ類・モモハモグリガ	前日

【第10回薬剤散布共通留意事項】

3. 散布量:10a当り⇒500ℓ以上

4. 留意事項

- ①無袋栽培は通常展着剤に代えて、機能性展着剤アプローチBIを1,000倍(水100ℓ当り100ml)で使用する。
- ②ハダニ類発生が多い場合は、マイトコーネフロアブル1,000倍(水100ℓ当り100ml・もも収穫前日・ネクタリン収穫3日前)を加用散布する。
- ③イカズチWDGに代えて、㊸スカウトフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50ml・ももネクタリン収穫前日)を使用してもよい。
- ④収穫中の品種に、飛散しないよう十分注意する。

◆収穫中品種の腐敗病防止対策について

被害果が樹上にあると降雨で被害が拡大するので、まずは圃場内の伝染源の除去を目的に、被害果を土中へ埋めるか圃場外へ持ち出す。

◆白鳳・あかつき・川中島白鳳等収穫について

手のひらによる弾力感や縫合線の張りぐあい、ももの香りなどを参考にして、糖度がのり熟期のきたものから収穫する。白鳳系の成熟は、千曲白鳳⇒あかつき⇒川中島白鳳⇒なつこの順です。

川中島白鳳・なつこは、着色が良い品種のため若取りに特に注意したい。

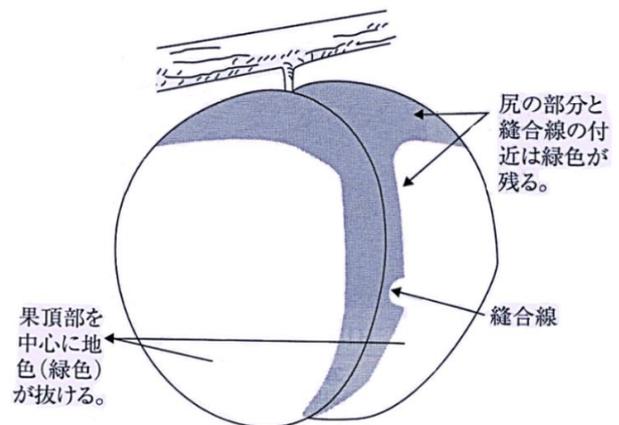
着色より、熟度に注意して収穫する！なお、一般的には、成熟期以前に、曇雨天が続くと果肉が先熟し、成熟日数が短くなり、高温乾燥が続くと成熟日数が長くなる。

◆除袋目安と管理について

1. 生育状況に十分考慮しながら、(高温干ばつで生育は遅れ、曇天多雨で生育は進む)別記の日程を目安に地色の抜け具合を観察し適期に除袋作業を進める。

2. 除袋時の注意

- ①除袋が早すぎると、無袋のようになり、着色が遅れ、遅すぎると着色せず、軟化が早くなるので、注意する。一般的な桃は、下記の図1を参考にし白っぽく淡い緑色になる頃が目安です。果実全体の地色が抜けた状態ではやや遅い。
- ②大玉から除袋を開始し、小玉や下枝・樹冠内部のものは上枝の除袋4～5日後に数回に分けて行う。最低でも上枝と下枝では生育差があるので2回程度に分けて除袋する。
- ③もも二重袋を使用したものは、3～4日程度早めに外袋のみ除袋する。
- ④除袋時に、曇雨天が続くような場合は、除袋時期の目安より、2日程度早めに始める。
- ⑤老木や樹勢の弱い樹は、数日早く除袋する。樹勢の強い樹は、除袋を遅らせる。



3. 着色管理

- ①葉つみは、着色ムラをなくすため果実に密着している葉を摘む。1果当たり5枚程度限度とする。摘み過ぎないように注意する。摘み過ぎは、着色・糖度に悪影響が出やすい。また肌荒れ・日焼け・軟化等、品質低下になる場合がある。※もも二重袋を使用した場合、葉摘みはしない。
- ②反射シートは、有袋品種で、除袋直後から使用する。無袋品種で収穫予定日の10～14日前位から使用する。概ね着色したら又は、収穫開始2日前薬剤散布前にシートを外す。
- ③支柱立て、誘引を行い樹内部に日の光が入るようにする。
- ④着色先行となり、早採りを助長するので、熟度をよくみて判断し収穫する。

4. 一重袋での除袋時期の目安（あくまで目安です。今後の気象条件・自園の状況に合わせる）

品 種	時 期	目安の指標
川中島白鳳	7月中下旬頃	<u>収穫4～7日前頃</u>
なつっこ	7月下旬頃	<u>収穫7日前頃</u>

※目安の指標：着色が容易な品種ほど除袋は遅めに。着色が困難な品種ほど早めとしてください。

◆もも・ネクタリン収穫前薬剤散布について

収穫前の重要な病害虫防除になる。特に降雨が多い場合は、影響が大きい。必ず実施し、対策を行う。

【除袋後・無袋着色始め】 **※必ず実施する。**

1. 散布時期：有袋除袋後又は、無袋着色始め（収穫7～10日前頃）《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量：100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
スクレアフロアブル	3 3 mℓ	灰星病・ホモブシス腐敗病	前日
アーデントフロアブル	5 0 mℓ	モモモグリガ・ミカンキロアザミウマ・シクイムシ類・ハマキムシ類	前日

【収穫開始2日前防除】 **※必ず実施する。**

1. 散布時期：収穫開始2日前 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量：100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
オンリーワンフロアブル	5 0 mℓ	灰星病・ホモブシス腐敗病	前日
エクシレル S E	2 0 mℓ	ミカンキロアザミウマ・シクイムシ類・ハマキムシ類	前日

【共通留意事項】

3. 散 布 量：10a当り ⇒ 500ℓ 以上
4. 留意事項
 - ①「収穫前日」となっている農薬の使用時期は、収穫する24時間前までに散布が終わる事を意味する。
 - ②果柄部へも丁寧に薬剤散布を行う。
 - ③除袋直後（ほとんど果面に日照を受けない状態）は、葉害（褐色の流れサビ斑・縞状の着色不良）が出やすいので少なくとも1～2日程度は日照をあてて散布する。
 - ④腐敗果を発見したら被害を拡大させないために、園外に持ち出すか除去し土中に埋める。
 - ⑤スクレアフロアブルも代えて、ミギワ20フロアブル 4,000 倍（水 100ℓ 当り 25mℓ・収穫前日まで）を使用してもよい。
 - ⑥オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル 2,000 倍（水 100ℓ 当り 50 mℓ・収穫前日まで）を使用してもよい。
 - ⑦エクシレルSEに代えて、サムコルフロアブル10の 5,000 倍（水 100ℓ 当り 20g・収穫前日まで）又はディアナ WDG5,000 倍（水 100ℓ 当り 20g・収穫前日まで）を加用散布する。

◆過繁茂の樹体・新梢管理について

1. まずは支柱立て・枝吊り・誘引で空間を作る。
2. 果実が2～3個成っていても、邪魔な立ち枝は切除する。
3. 大きな副梢がある強い新梢を切る。（徒長枝は早めに切っておく）

◆白鳳系並びにネクタリン収穫・出荷講習会開催について

下記の日程により講習会を開催しますので都合のよい会場で受講下さい。

※出荷講習会からが収穫始めではありません。適熟になったものは、講習会前から荷受けします。
また、講習会后であっても、未熟なものは収穫せず、適熟になってから収穫を開始して下さい。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
7月18日	金	午前10:30	東部流通センター(荷受け場)	外谷
			西部流通センター※車は東側駐車場へ	徳武
		午後 1:30	塩崎共選所	徳武
			今井神社(中津)	松橋
		午後 2:00	東部流通センター(荷受け場)	外谷
		午後 3:30	JA川中島支所	松橋
7月21日	月	午前 9:30	真島フルーツセンター	根津
		午前10:30	斗女神社(御厨)	松橋
		午前11:00	青木島支所	根津
7月23日	水	午前11:00	松代総合センター	伊藤
		午後 1:30	若穂営農資材センター(川田)	寺澤
		午後 3:00	若穂果実流通センター	寺澤